

スポーツ教養プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2020年9月12日（土） 15時45分から16時45分まで

2 会場

日本ガイシフォーラム

3 プログラム名

コミュニケーションについて考える

4 講師（敬称略）

仙台大学体育学部教授 栗木 一博

5 活動内容

「自己表現や自己分析の大切さを学ぶ」ことを本日のテーマとして、アカデミー生はプレゼンテーションを行いながら理解を深めていきました。

はじめに、引いたカードに書かれているものをテーマにアカデミー生がプレゼンテーションを行いました。積極的に発表する人がいる一方で、発表できなかった人の理由にも着目し、自己分析の大切さを教えていただきました。また、プレゼンテーションに由来する「プレゼント」と「ギフト」の違いを取り上げるなどして、プレゼンテーションを行うコツ等を学びました。

次に、2人組になり、相手が何を考えているのかを当てる質問ゲームを行いました。対人型のスポーツにおいては、相手の立場に立って考えることの大切さや自己分析のためにもコーチングマインドを持つことの大切さなどを学びました。

最後に「スポーツについて考える」ことをテーマに、スポーツは「アントラージュ」という選手を支える多くの人々から成り立っていることや、ユースオリンピックなどの事例から、自分たちのライバルが世界を舞台にどのように活躍しているかについて理解を深めました。

